

ももせやすらぎの里平成24年度第2回運営推進会議報告書

開催日時 平成24年7月27日(金) 14:00～

開催場所 塩釜市字伊保石30-1

グループホームももせやすらぎの里老番地の1

1. 参加者

- ・塩釜市健康福祉部長寿支援課長寿支援係 課長補佐兼係長 八巻一雄様
- ・塩釜市北部地区地域包括支援センター 所長 吉田正和様
- ・入居者ご家族様5名
- ・ご入居者様3名
- ・介護老人保健施設ももせ塩竈事務長 齋藤禎夫
- ・やすらぎの里職員
管理者 鈴木弥生、看護師 小山雅美
計画作成担当者 清水英子、ケア・ワーカー 小島直之

2. ドームハウス内覧

3. 開会の挨拶

4. ももせ塩竈・口腔ケアモデル事業について

※ももせ塩竈 事務長 齋藤より

- ・近年、多くの介護福祉事業所が設立している中、口腔ケアの方法やケア用品への理解が不十分であることが多い。
- ・口腔機能評価、ケアの評価が未実施である。
- ・口腔ケアについては未だ理解、体制ともに不十分な点が多いため、宮城県の協力要請により、この度ももせ塩竈が口腔機能維持管理の為にチームアプローチ体制をつくり、実施していく事となった。
- ・口腔ケアのためのアセスメント票を作成し、年間を通して口腔ケア状況の確認、把握を行ってゆく。
- ・ここで行われたモデル的取り組みは、管内の他施設へ普及させて行くことを目的とする。
- ・24年度末に仙台保健福祉事務所主催で、研修会を実施する。
- ・開始より3ヶ月が経過し、社員の口腔ケアに対する取り組み方にも変化が出ている。今後年間で3回の研修、及び経過観察、評価を行っていく。

5. 高齢者と口腔ケアについて

※やすらぎの里 看護師・小山より

- ・口腔ケアとは、口の中の清潔を保つこと。口内の環境が悪化すると歯周病が悪化、歯を失うことで咀嚼機能の低下する恐れ、また口内の清潔が保たれていないことによる唾液の減少、味覚の変化、低下など様々な弊害が生まれる。
- ・近年では口の中の細菌と内科的な病気との関連、咀嚼機能と老化・認知症との関連など、口内の環境が高齢者の全身の健康と大きく関連していることが明らかになっている。
- ・代表的な全身疾患として誤嚥性肺炎が挙げられる。口内の残渣物などが原因で細菌が気道に入る事で発症する病気で、高齢者肺炎の原因として実に60%がこの誤嚥性肺炎であると言われている。
- ・たとえ誤嚥したとしても、肺炎に移行しないように、口の中を清潔にしておくことが大切である。

6. 口腔ケアの取り組み

※やすらぎの里 職員・小島、清水

- ・基本的に毎食後に口腔ケアを行っているが、入居者様のその時の機嫌などにより、十分に行えていない事もある。全職員が口腔ケアの重要性を再確認し、問題点、課題点があれば、都度見直していく事とする。

7. 質疑応答

※塩釜市北部地区地域包括支援センター 所長 吉田正和様より

- ・実際にモデル事業所として4ヶ月ほど経過するが、この4ヶ月で利用者様に何か目立った変化、気付く事はありますか？
- ・話すことが多くなった、ご飯がおいしく食べられる様になったなどの変化は出始めているが、今後も結果を残せるように模索していきたい。
- ・在宅の場合、口内の清潔の判断は自分自身で行われるので、気がついた時には手遅れ…となっている事も多い。今回のモデル事業の報告は、大変興味深い。

8. 閉会の挨拶

※管理者 鈴木より

- ・いつまでも口から物を摂取出来ることの喜びを、今回の会議を通して再確認致しました。

今後も継続して口内の衛生に取り組んで参りたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

次回は10月5日（金）開催を予定しております。

グループホームももせやすらぎの里
管理者 鈴木 弥生